

平成 2 9 年 度

会 計 課
定 期 監 査 報 告 書

笛吹市監査委員

1 監査の対象

会計課に係る財務に関する事務の執行状態並びに事業の管理状態について監査を実施。

2 監査基準日・監査の範囲

平成30年2月28日現在の財務及び事務に関すること

3 監査の実施日

平成30年3月26日 午前10時30分から

4 監査の方法

監査の対象となった一般会計の下記項目について、会計課から提出された資料に基づき説明聴取を行うとともに、関係帳簿、証憑書類の突合及び計算突合等により関係諸記録を相互に付き合わせ、その記録又は計算の成否を確かめた。

1 「平成28年度定期監査等指摘要望事項措置状況報告書」

2 「職員の事務分掌表」

3 「懸案事項及び業務に関する問題点」

4 「指定事項調書」

① 笛吹市財務規則第217条による各課等の会計事務の検査結果について

② 笛吹市財務規則第218条による指定金融機関等の検査結果について

③ 笛吹市ペイオフ対策検討委員会設置要綱に基づく委員会の開催状況について

④ 今年度の基金運用の成果と来年度に向けた方向性について

5 監査の着眼点

監査にあたり次の点に着眼し監査を行った。

- ・ 事務事業が法令、条例規則等に則り適正に行われているか。
- ・ 住民サービス向上の観点から、現行の事務事業が適正なものか否か。
- ・ 現金出納が適正に行われているか。

6 監査の結果

事務・事業の執行状況

会計課に係る主な事務事業の執行については、良好であると認められる。

なお、監査において気がついた点を後述するので、今後適切な措置を講じられたい。

7 指摘・要望事項

会計課	事務 事業	特になし
-----	----------	------

8 前年度定期監査等指摘要望事項に対する対応措置について
平成28年度定期監査において指摘された事項はなかった。

9 指定事項の回答について

本監査において、監査委員が指定した事項（指定事項調書）については、その現状及び今後の方針が以下のとおり回答された。

《指定事項①》

笛吹市財務規則第217条による各課等の会計事務の検査結果について

《現状及び今後の方針》

- 本庁・各支所の窓口におけるつり銭検査を平成30年2月8日、15日、19日、22日、27日実施。適切に処理されておりました。
- 資金前渡金のうち、長期未清算となっている現金の管理状況について平成30年2月15日、20日、26日、27日に関係課での実施検査確認を行い適切な取扱を確認しました。

《指定事項②》

笛吹市財務規則第218条による指定金融機関等の検査結果について

《現状及び今後の方針》

- 笛吹市指定金融機関等への検査については、地方自治法施行令・笛吹市財務規則に基づき実施しています。本年度は笛吹市指定金融機関の山梨中央銀行（石和支店）、収納代理機関の山梨県民信用組合（石和支店）・JAふえふき（本所）・JAフルーツ山梨（山梨支所）が検査対象。2月13日に検査を実施。処理簿等適切に管理処理されていました。

《指定事項③》

笛吹市ペイオフ対策検討委員会設置要綱に基づく委員会の開催状況について

《現状及び今後の方針》

- 市長会を通じて年2回金融機関の経営状況について調査を委託しています。調査機関からの指定金融機関、収納代理金融機関の平成29年9月期決算調査報告資料を参考に、笛吹市ペイオフ対策検討委員会設置要綱に基づき会計管理者の招集により平成30年2月21日検討委員会を開催。
委員は関係部局職員6名（会計管理者が会計課長を兼務となり、実質5名）で構成し、市内の経済動向もふまえて検討を行っており、その会議結果を市長に報告し、決裁処理を行っています。

《指定事項④》

今年度の基金運用の成果と来年度に向けた方向性について

《現状及び今後の方針》

- 基金残高は平成28年度末で172億68,065,304円、このうち土地開発基金で旧NTT土地を4億52,679,491円で購入（支払日5月25日）と介護保険基金593,823円を11月30日取り崩しにより、残高168億14,791,990円について、定期及び有価証券、現金により管理運用しているところです。この内定期及び現金

については、一般会計等へ繰替え運用し歳計現金が不足した際の財源として活用しています。平成29年度においては、平成30年3月1日に5億円、3月6日に9億円を繰替え運用する予定となっています。

運用面では、日銀のマイナス金利により各金融機関の預け入れ利率が低下しているため利息収入は低下しています。また、新発の国債等も低利の状況となっていることから新規に購入する状況ではありません。このような状況下で、現在保有している国債等有価証券については、償還期限（満期）に偏りがあることから、基金としての活用も考慮し、平成29年度において長期の地方債等を中期で償還となる利率の高い国債等を買替をしました。これによる売却益や利金増が927万円となった他、スタンレー電気の配当金が78万円増額となり、平成28年度8717万円であった運用収入は平成29年度は9644万円となる見込みです。

来年度については、金利の上昇が当分の間見込めない状況であり、また、市の財政状況も厳しくなり基金の活用も増えることが見込まれますので、長期国債等の期間見直し・高利率化を進めていく必要があると考えております。

基金残高

平成28年度末	17,268,065,304
平成27年度末	17,088,390,775
平成26年度末	16,095,723,167
平成25年度末	16,960,344,494

基金利息状況

一般会計分	
平成29年度末見込（2月末現在）	96,443,454
平成28年度末	87,172,384
平成27年度末	84,853,713
平成26年度末	101,424,736